

福証IRフェアオンライン
会社説明会

清和中央ホールディングス

鉄鋼流通を通じて、社会インフラと産業活動を
支える企業グループ

証券コード **7531**

東証スタンダード / 札証 / 福証

2026年9月9日



AGENDA

本日の説明内容

会社の全体像から投資判断のポイントまで、順を追ってご理解いただきます。

01

会社概要

鉄鋼流通を中核とする企業
グループ

02

事業内容

取扱商品と商流

03

当社の強み

品揃え・加工・物流ネット
ワーク

04

業績・財務

業績ハイライト・財務基盤
の状況

05

持続的成長

ROE改善の鍵は収益力の向上

06

株主還元

安定配当を基本とした還元
方針

07

100年企業を目指して

中長期的に持続可能な企業
として

Q&A

ご説明の後、質疑応答のお
時間を設けています。

01 会社概要

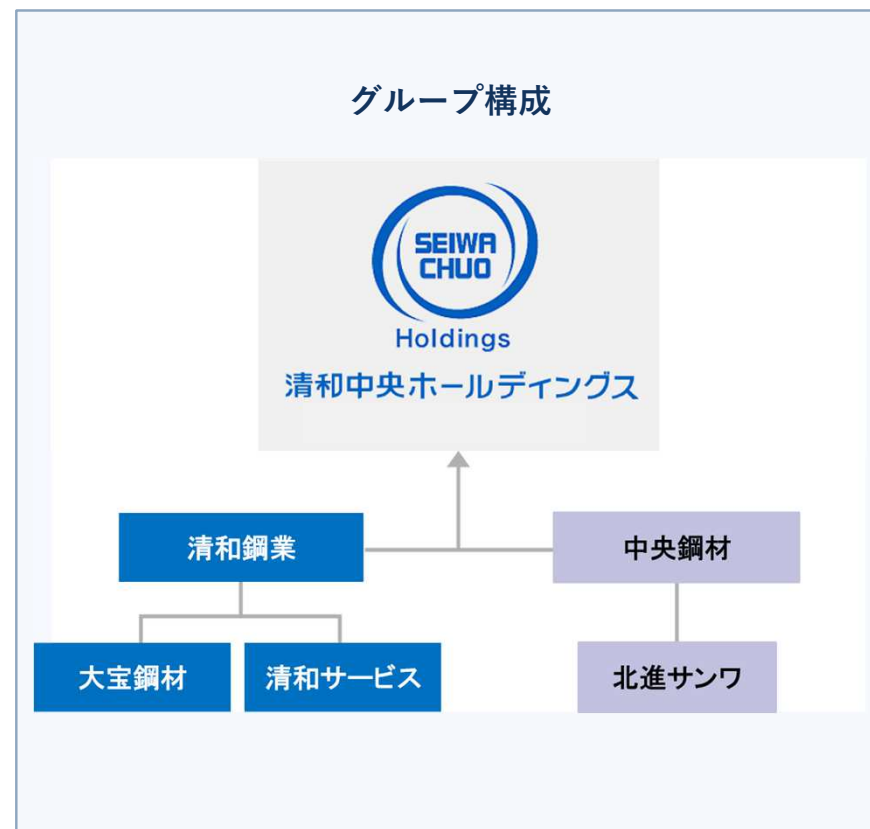
鉄鋼流通を中核とする企業グループ

清和鋼業・中央鋼材を中核に、鉄鋼専門商社として事業を展開

清和中央ホールディングスは、鋼材の販売・加工・物流機能を通じて、建設業・製造業を支える鉄鋼流通グループです。

持株会社としてグループ全体を統括し、各事業会社が地域や機能ごとの強みを活かして鉄鋼流通サービスを提供しています。

会社名	清和中央ホールディングス株式会社
上場市場	東証スタンダード / 札証本則 / 福証本則
証券コード	7531
事業領域	鋼材 販売・加工・物流



01 会社概要

国内事業拠点

清和鋼業 西日本中心

中央鋼材 東日本中心



● 清和中央ホールディングス

● 清和鋼業株式会社

■ 中央鋼材株式会社



本社／清和鋼業 本社



岡山支店



和歌山店



九州支店

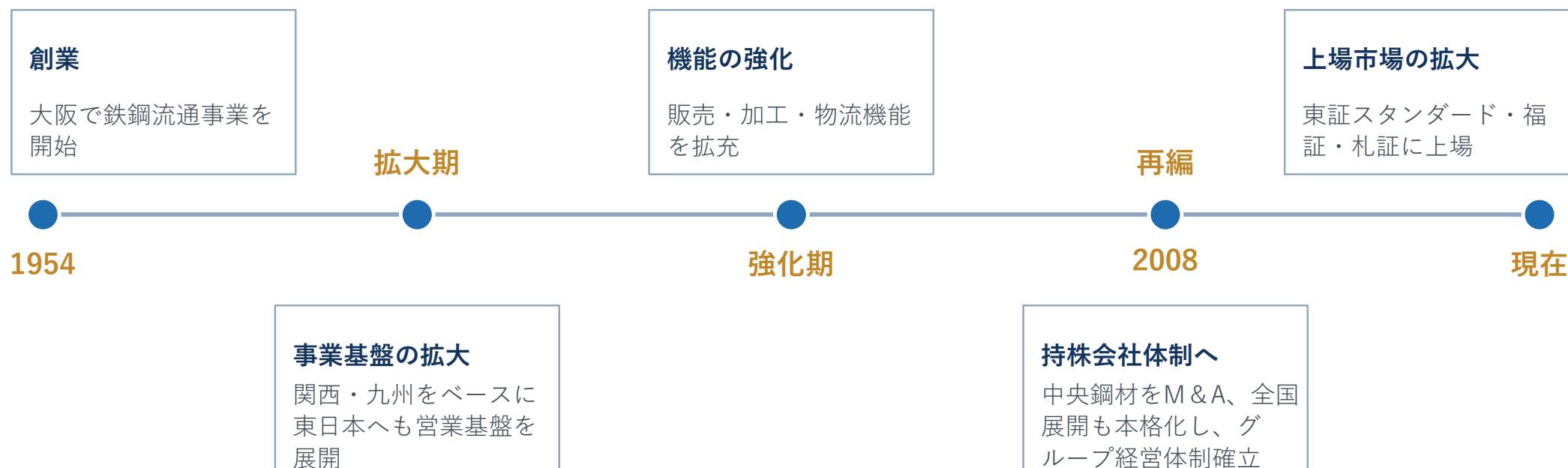


中央鋼材

01 会社概要

地域に根ざして築いてきた事業基盤

1954年の創業以来、地域密着で鉄鋼流通の基盤を拡大してきました。

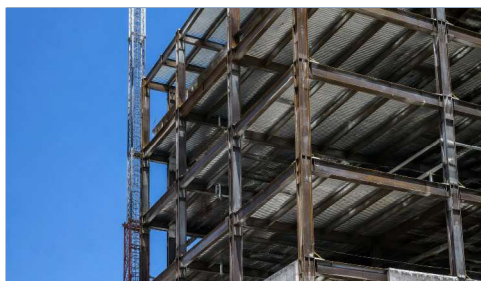


沿革 1954年、大阪の地で鉄鋼流通事業として創業しました。以来、関西・九州を基盤にお客様との信頼を積み重ね、販売・加工・物流の機能を段階的に拡充。2008年には東日本の中央鋼材をグループに迎え全国展開を本格化させ、現在は持株会社体制のもとグループ経営体制を確立しました。上場市場の拡大とともに、社会インフラと産業活動を支える鉄鋼流通グループとして、100年企業を目指し歩みを続けています。

02 事業内容

暮らしと産業を支える鉄の用途

鉄は建築物から自動車、産業機械、社会インフラまで、幅広い分野で使われる私たちの暮らしを支える基幹素材です。



■ 建築・建設

ビル・マンション・工場の鉄骨や鉄筋として、建築物の骨組みを支えます。



■ 自動車・輸送機器

自動車の車体やフレーム、鉄道車両・船舶など輸送機器の主要素材です。



■ 産業機械・工具

工作機械や産業設備、各種工具の部材として、ものづくりの現場を支えます。



■ 社会インフラ

橋梁・鉄道・道路・港湾など、社会インフラの整備に欠かせない素材です。

02 事業内容

取扱商品

主力鉄鋼商品



H形鋼



山形鋼



溝形鋼



異形棒鋼



熱延鋼板



構造用棒鋼



カラー角パイプ



カラーC形鋼

お客様のニーズに応じた鋼材を扱う「独立系商社」として、豊富な品揃えと確かな材料品質を誇る鋼材を幅広い業種のお客様へ提供しています

02 事業内容

商流

鉄鋼流通の商流



仕入先とお客様の双方に価値を提供する、鉄鋼流通としての役割

当社は多くの仕入先と密に連携し、お客様のご要望に細やかに対応しています。双方向に価値を提供する役割を担い、今後も必要とされるビジネスパートナーであり続けます。



豊富な品揃えと即納対応力

強み①

現物在庫と調達力により、多様なお客様のニーズに対応

幅広い鋼材ラインアップと在庫機能を活かし、お客様が必要とする鋼材を安定的に供給します。

- 幅広い鋼材ラインアップ
- 在庫機能による安定供給
- 必要なタイミングでの即納対応



03 当社の強み

全国屈指の物流倉庫

「鉄のデパート」と称される品揃えで、多様なニーズに迅速・的確に対応

当社の強みの一つは、“豊富な品揃え”。日本各地にある物流倉庫の総敷地面積は14万m²を超え、あの甲子園グラウンド11個分に相当します。この全国屈指の大きさを誇る物流倉庫に、豊富な鉄鋼商品を揃えて、2,000社以上ものお客様から求められる多種多様なニーズに、きめ細やかに対応しております。さらには、商品の安定供給にも努めており、自動車・工具・機械・建設など、それぞれの分野によって必要とされる鋼材は異なりますが、迅速かつ的確にお客様のニーズに対応するための体制を整えております。

- 全国屈指の物流倉庫に豊富な鉄鋼商品を在庫
- 自動車・工具・機械・建設など幅広い業種へ安定供給
- 独立系商社のネットワークで多様なニーズに対応



14万m²

総敷地面積（甲子園球場11個分）

2,000社超
取引先数
（多様な業種）

加工サービスによる付加価値

強み②

加工機能により、お客様の工程短縮と効率化に貢献

切断・穴あけ・溶接等の加工対応を通じて、鋼材販売にとどまらない付加価値を提供します。

- 一次・二次加工からハイレベルな加工まで対応
- お客様の工程短縮・作業負担の軽減
- 収益性向上につながる領域



03 当社の強み

ワンストップの加工対応

材料手配から加工まで一貫。コストダウンと短納期を実現

最新鋭の設備と確かな技術力に基づき、多彩な鋼材の加工ニーズにも対応。H形鋼やコラムを中心とした形鋼の精密切断、孔明け、開先、ショットブラストなどの一次加工に加え、鉄骨梁加工も数多く手掛け、多くの専門加工業者との連携も通じて、多彩なニーズに幅広くお応えしております。お客様の多彩な加工ニーズに応えるため、物流拠点内に加工設備を備え、自動化ラインを構築。材料の手配から加工まで一貫して行うことで、コストダウンと短納期を可能にします。

- 物流拠点内に切断・開先加工設備を保有
- コラム・H形鋼の自動化ラインを構築
- 建築分野の鉄骨梁加工にも対応



03 当社の強み

物流・在庫機能と地域ネットワーク

強み③

- 清和中央ホールディングス
- 清和鋼業株式会社
- 中央鋼材株式会社



本社／清和鋼業 本社



岡山支店



和歌山店



九州支店



地域密着の拠点網で、お客様に近い鉄鋼流通サービスを提供

西日本・東日本の事業基盤を活かし、地域需要に応じた営業・在庫・物流対応を行っています。

- 西日本・東日本の2極体制
- 地域需要に応じた在庫・物流
- お客様の現場に近い納期対応



中央鋼材

03 当社の強み

全国をカバーする即納体制

「必要な時に・必要なものを・必要な量だけ」を迅速かつ確実にお届け

当社は、お客様へ「必要な時に」「必要なものを」「必要な量だけ」を迅速かつ確実にお届けする理想の供給体制を目指し、お客様の身近な場所に物流拠点を設けるとともに、専属の配送会社も確保して、日本全国に商品をお届けしています。現在は国内有数の在庫能力を有する物流拠点を日本各地に10数ヶ所設けており、今後も「必要な時に」「必要なものを」「必要な量だけ」をお届けする即納体制を提供し、鉄鋼業界の先駆者として、お客様に必要とされ続け、社会に貢献する事が私たちの使命と考えています。

- **全国に10数ヶ所の物流拠点を展開**
- **専属配送会社による確実なデリバリー**
- **国内有数の在庫能力で即納に対応**



全国 10数ヶ所の拠点網

日本全国へ商品を届ける物流ネットワーク

2025 業績ハイライト

着実な経営改善で全利益指標の黒字転換を達成

売上高

500億円

▼2.8%

営業利益

4億円

黒字転換

経常利益

5.1億円

大幅改善

純利益

3.4億円

黒字転換

ROE

2.2%

自己資本比率

44.1%

営業CF

19億円

EPS

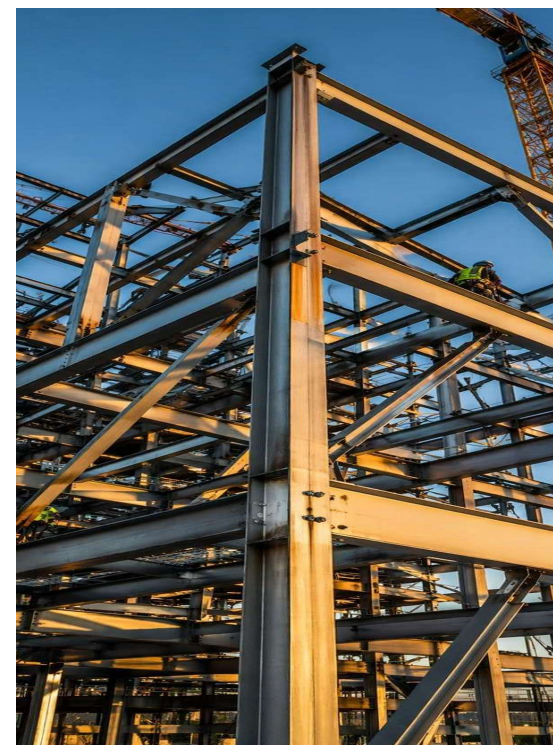
88.45円

配当

20円/株

PBR

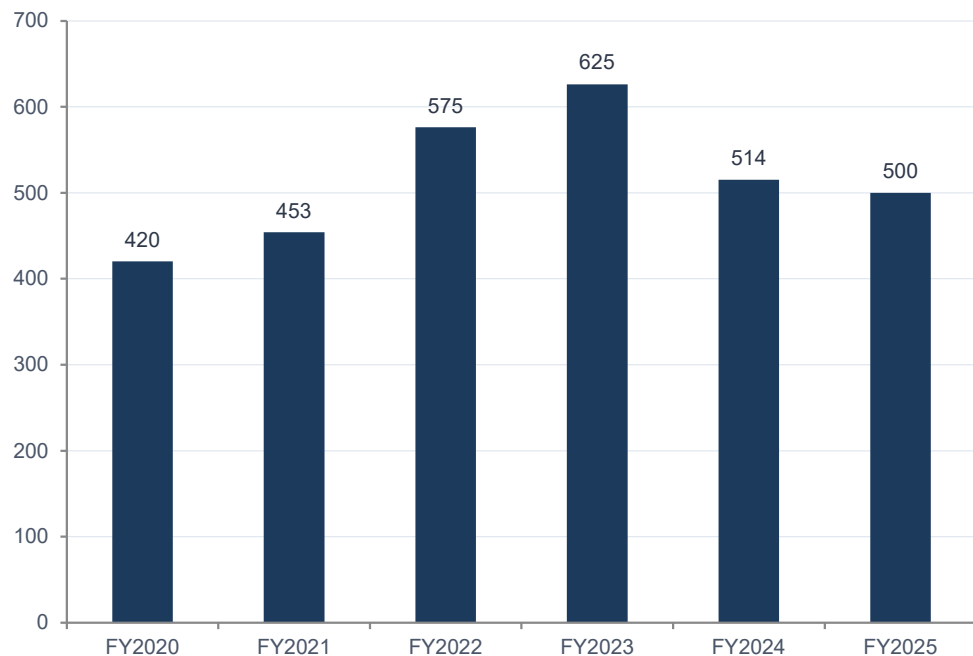
0.36倍



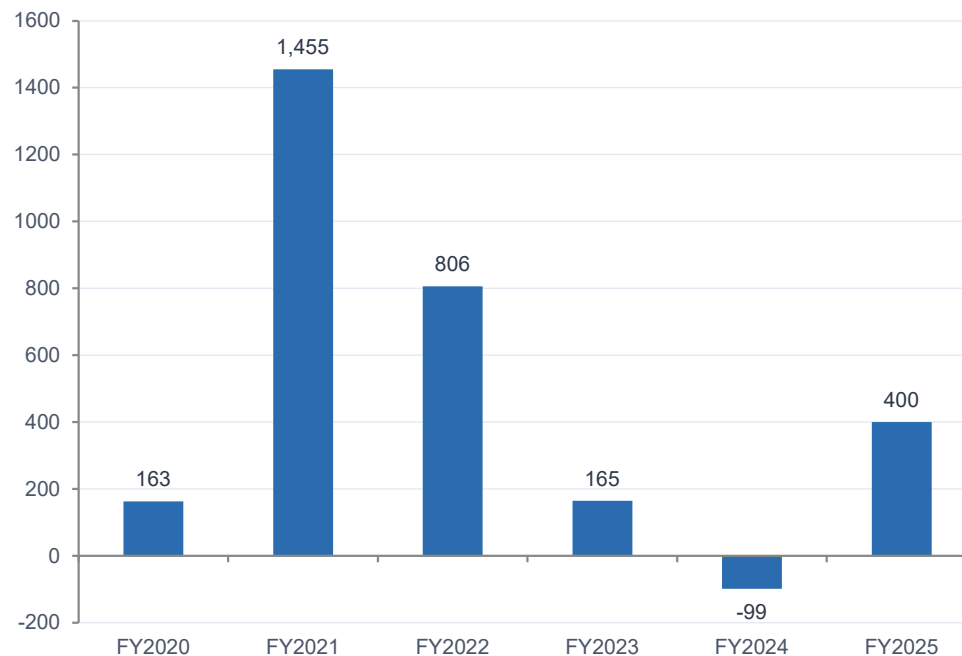
6期で見る安定成長 — 着実な回復基調

2024年12月期の赤字からV字回復。東日本セグメントの鉄骨加工収益改善と経費削減が奏功。

売上高（億円）



営業利益（百万円）



財務の健全性維持

体力勝負も想定した盤石な財務基盤

鉄鋼需要の減少が続く中、業界再編や淘汰はさらに進行することが予想されます。この過程では価格競争の激化や取引先の信用リスクの顕在化など、まさに「体力勝負」となる局面も想定されます。当社グループは、こうした環境下においても安定した経営基盤を維持するため、健全な財務基盤の維持を基本方針としております。

業容拡大のための設備投資やM&Aの検討を求められる場面が数多く発生するため、成長投資の観点からも相当な額の内部留保が必要と判断しており、不測の事態の際でも経営基盤の安定を図ることのできる体制を維持してまいります。

44.1%

自己資本比率

2025年12月期

161億円

純資産

2025年12月期

19億円

営業CF

2025年12月期

資本効率の向上と企業価値

市場集約に伴う収益機会の着実な取り込み

鉄鋼流通業界では再編・淘汰が進む見込みですが、鉄の需要が消失することはありません。当社はこの変化を成長機会と捉え、新規取引先の獲得と既存取引先でのシェア拡大を通じ、市場集約に伴う収益機会を取り込んでまいります。

ROE改善の鍵は「収益性の向上」

● 収益性（利益率）	▲ 改善余地あり	景気変動に左右されやすく、2025年12月期の営業利益率は0.8%と低水準。ROE改善の最大のレバーであり、当社の最重要課題。
● 資産効率（回転率）	● 有効活用中	総資産回転率は適切な水準を維持。鉄鋼流通業の特性上、在庫・売掛金が資産の大半を占めるが、効率的な資産運用を実現している。
● 財務レバレッジ	● 健全性維持	自己資本比率44.1%と健全な水準。財務の健全性維持は経営方針の根幹であり、レバレッジの活用ではなく、収益力で資本効率を高める方針。

株価・PBR向上への道筋： PBR 0.3～0.4倍（現状）の改善にはROE向上が不可欠。収益力が向上すれば業績面で増配も可能となり、結果的に株価への反映が期待できます。

収益力の向上策

中長期にわたり収益力を高めていくための4つの柱



ワンストップ機能の拡充

- 在庫強化：現物・即納の付加価値を最大化し、受注成約率を向上
- 物流強化：提携運送会社の定期便活用、輸送網の拡充
- 加工強化：一次～二次加工の自社対応と協力会社との連携体制
- 2024年問題もあり現物商売の価値見直し期待



業務効率化・DX推進

- 新基幹システム本格稼働（約4年かけて再構築）
- 現品管理のデジタル化により誤出荷を撲滅
- 納品書・請求書の電子送信でペーパーレスを推進
- ミルシート対応のDX化
- 業務改善ポストの運用で社員からの効率化提案を促進



人材戦略

- 鋼材エキスパートとしての提案型営業人材を育成
- 通年採用・キャリア採用を駆使した優秀な人材の確保
- 働きがいをお大切にする経営（成長機会・処遇・職場の人間関係・健康等）
- 少数精鋭で個々のスキルアップを重視



M&A戦略

- 普通鋼から特殊鋼まで、鉄鋼流通を主軸とした事業者が対象
- 同業他社との競争激化を見据えた業容拡大
- 設備の増強や加工機能の強化につながる案件を優先
- 成長投資のための内部留保を確保

株主の皆さまへの利益還元

安定配当を基本とした還元方針

当社は、鋼材販売という市況の影響を受けやすい業種に属しておりますが、安定した配当を継続することを基本方針としております。事業環境・業績・財務状況等を総合的に勘案しながら、安定配当を基本とした柔軟な株主還元を継続してまいります。

収益力の向上が実現すれば、業績面での増配が可能となり、結果的に株価への反映も期待できます。内部留保は将来の事業展開を見据えつつ、不測の事態の際でも経営基盤の安定を図ることのできる体制を重視し、ヒト・モノ・カネの経営資源を効率よく投下してまいります。

1株あたり配当金推移

期	配当	性向
2021年	42円	15.6%
2022年	30円	19.4%
2023年	15円	57.2%
2024年	10円	-
2025年	20円	22.6%
2026年(予)	25円	27.3%

100年企業を目指して

中長期的に持続可能な企業 = 「ずーっと」の実現

経営トップの想い

堅実な経営で収益向上と持続可能なビジネスを展開し、その結果を株主の皆さまに還元していきたい。派手さは少なくとも、安定・持続可能な経営でありたいと考えています。

- 鉄鋼流通の先駆者として社会に常に必要とされる企業でありたいと考えています
- 業界構造の変化を成長機会と捉え、市場集約に伴う収益機会を取り込んでいきます
- 収益力の向上を通じてROE・PBRを改善し、市場からの評価を高めていきたいと考えています
- 安定配当を基本に、業績に応じた柔軟な株主還元を続けていきたいと考えています

取引先・社員・株主の各ステークホルダーとの継続した関係を築き、その結果として各ステークホルダーにとっての企業価値の向上につなげていきたいと考えています。

質疑応答

Q & A

ご清聴ありがとうございました。
ご質問をお願いいたします。

清和中央ホールディングス株式会社

証券コード 7531 | IRサイトにて各種資料を公開しています

